

しんじゆ 新樹

2018
35号
10.15

前橋市男女共同参画情報誌

情報誌「新樹」は、水と緑と詩のまち前橋をイメージし、男女平等の葉が青々と茂るようにという願いを込めました。

前橋市のホームページからでもご覧になれます

前橋市 新樹

検索

前橋市 HP→市政情報→参画・協働・交流→男女共同参画

- 農業女子がおいしさ、楽しさ、元気をお届け！……………P 2-3
- 男女共同参画セミナー……………P 4-5
- 結婚を望むあなたをそっと後押し……………P 6
- きらり輝くヒトにインタビュー！……………P 7
- LGBTについて考える……………P 8



ひとりで悩まず DV相談……………☎027-898-6524
相談してください。女性、セクハラ相談……………☎027-898-6520

平日（月～金）
9:00～17:00

この情報誌は、市民ボランティア編集委員と前橋市が協働で作成しました。

農業女子がおいしさ、楽しさ、元氣をお届け！

「Uターン農業女子」

矢端晴美さん

縁もゆかりもない前橋の地へ

岐阜県で生まれ、JICA（注1）で知り合った夫との結婚を機に、縁もゆかりもない前橋での生活がスタートしました。夫の実家は、養豚と稲作を中心とした専業農家でしたが、義父母は農業より家事・子育てを優先することに理解を示してくれました。それに、夫の「やりたいことをやったほうがいい」という言葉にも励まされ、農業をやりながら、結婚後も日本語教師の仕事を続けました。

農業の素晴らしさを実感

農家に嫁いで「こうやってお米や野菜が採れる」「買った物ではなく、自分の家で採れたもので料理ができる」ことにとっても感動しました。今まで消費者だった私が生産者の立場になり、農業の素晴らしさを実感しました。

そして農業には、人を癒す力もあります。子ども会や高校生の農業体験の受け入れも行っていますが、土に直接触れることで、みんなが笑顔



矢端晴美さん

で元氣になります。

「ヤバタファーム」の立ち上げ

2003年に、農業生産法人有限会社「ヤバタファーム」を家族で立ち上げました。

主力は稲作で、作っている田んぼは、23町（1町＝3000坪）。田植えは、社長（夫）と従業員たち、そして頼もしい助っ人たちで行い、2週間もかかります。

お客様に人気のお米を作り、自分たちの決められた価格で売り、私は主に、その営業と販売担当です。



ヤバタファームのみなさん

2017年に農業委員に任命されました。はじめは、わからないことも多く必死でしたが、最近、ようやく肩の力が少し抜けてきたような気がします。そしてこれからは、夫と共に

農業委員として

「女性ならではの視点で、このお米で何かできないか」と思い、2006年収穫米を加工し餅の販売を始めました。いわゆる、6次産業（注2）です。

当初、販路は口コミだけだったのでも、こんなやり方でやっていけるのかと不安がありました。「安全安心で、自分で食べて美味しいものを提供したい」「地域の伝統の味を伝えたい」そんな思いから、作物の様子や食べ方など、四季を感じるものをニュースレターにして、発信しました。そうすることで、消費者の方に少しずつ認知されてきたような気がします。

6次産業化へ

農業を通して地域貢献したいと思っています。

また、若い女性の農業者とも、いろいろな悩みを共有したり、時には先輩として相談に乗ったり、一緒に頑張っていきたいと思っています。

「Uターン農業女子」

齋藤ゆかりさん

家業の養鶏園を兄弟で

後閑養鶏園の創業は1961年。1987年には有限会社「後閑養鶏園」を立ち上げました。

1997年に就農。兄弟三人で、実家の家業を継ぎ、主に兄が野菜と米、弟が養鶏、私が直売所と加工担当です。

会社では男女の区別なく発言権も平等で、合議制で会社を運営しています。

命はまるごといただく

創業者の父は、平飼い（注3）・自家配合飼料で二百羽から養鶏をスタート。今は、約一万羽を飼育。国内の卵を生む鶏の中で、5パーセントしかいないという純国産鶏（食肉兼用種）を飼っています。

卵を産み終えると、ウインナーや

つくねに加工し、命はまるごといただき、無駄にしないようにしています。

男女共同参画

農業の分野では、かつては女性として意見が発言しにくいところがありました。女性も、その意見も少しずつ反映されてきたように思います。男性も女性も、それぞれの立場が尊重されるのが大切だと思います。ちなみに私は、トラクターの運転はできません。でも卵を使ったお菓子の商品開発や販売などに、女性ならではの視点を活かすことができていると思っています。

それぞれが適性を活かし、男女が協力をしてやっていければ良いのではないかと思います。

食育の大切さ

地元の小・中学校で「食育」のお話をさせていただくことがあります。時には「プリンやクッキーの作り方



齋藤ゆかりさん

を教えてください」とお願いされることもあります。子どもたちに、自分で作って食べることの楽しさを伝えたいと思っています。

また、出産を経験し、母親となつてからは、「生命の尊さ」をより強く感じるようになりました。「安心安全なものを食べてほしい」「食材本来の美味しさを知ってほしい」という思いが、私の食育活動につながっています。

その思いが『ほっとする味、食べる笑顔になる』という消費者の声に反映されているような気がします。

農業と音楽

大学、専門学校と音楽を学び、群馬に戻ってから週末は聖歌隊で活動していました。現在も、音楽を通じた慰問活動を行っています。歌うことが大好きで、鶏たちの面倒をみながら、気がつくくと鼻歌を歌っていたり。鶏たちにも歌を聴いてもらっています。

家族の支え

夫は、一緒に考えて、受けとめてくれる人です。仕事にも理解があり、私がやりたいということは「わかった」と言っただけで娘と一緒に応援してくれます。

そんな家族に支えられ、これからも大好きな仕事と音楽で笑って生きていきたいと思っています。



毎日手作りのケーキ類が並ぶ

◆まえばしマジヨーラ

お二人の取材時に『マジヨーラ』という言葉が頻りに出てきました。この「まえばしマジヨーラ」とは、

市内で農業を営む女性が、自分で作った農産物で加工品を作り出す『魔女』の集まりだそうです。メンバー全員がそれぞれの農産物を持ち寄り、合体させて1プラス1が2以上となるものを作り出しています。晴美さんの小麦粉と、ゆかりさんの卵を使ってケーキを作ること。会員同士で美味しいものを融通し、宣伝しあう、とても良い仲間だそうです。『マジヨーラ』なんとミステリアスな響きなのでしょう！

◆赤城の恵ブランド

晴美さんの作る「もち屋伝次平のもち」と、ゆかりさんの作る「朝採り卵のプリン、シフォンケーキ」は「赤城の恵ブランド」(注4)の認証品



として販売されています。二人ともそのブランドとしての品質を確保することと衛生管理には、細心の注意を払っているそうです。

晴美さんもゆかりさんも家族や地域の人々に支えられ、自然の恵みと人との触れ合いに感謝して生き生きとした、しなやかな生き方をしています。

その笑顔は、おひさまにも負けないくらいまぶしく、とても輝いていました。

(記事・中山)

(注1) JICA

独立行政法人国際協力機構

事業内容は多岐にわたっており、プロジェクトとして、「青年海外協力隊派遣、国際緊急援助隊派遣」等

(注2) 6次産業

・第1次産業：農林漁業者、農家や漁師

・第2次産業：第1次産業で生産した原材料を加工する産業。小麦粉からパンを作るなど

・第3次産業：第1次、第2次で作られたものを販売したり、使用する産業。レストランやホテル、運送業など

○第1次産業×第2次産業×第3次産業＝6次産業

1次産業者が2次産業、3次産業にも取り組み、自分で売っていくとする取り組み、これが「6次産業」

(注3) 平飼い

鶏を地面に放して自由に運動できるようにした飼育方法。より自然に近い環境でストレスを与えないことを目的としている

(注4) 赤城の恵ブランド

前橋産の農林水産物のうち、食の安全・安心や地産地消に取り組んでおり、品質の良いものとして認められた食品に与えられるブランド

平成30年度前橋市男女共同参画セミナー

平成30年6月2日(土)

幸せになる働き方

「仕事も育児も介護も」



講師 **土堤内昭雄**さん

(株)ニッセイ基礎研究所主任研究員

「少子高齢化・人口減少とまちづくり」「コミュニティ・NPOと市民社会」「男女共同参画とライフデザイン」「格差と貧困問題」等に関する調査・研究および講演・執筆活動を行う。
著書に、『父親が子育てに出会う時』(筒井書房)、『人口減少』で読み解く時代』(ぎょうせい) など。

幸せになる働き方とは

今日は、ワーク・ライフ・バランス(注1)をふまえ、「幸せになる働き方」というテーマでお話させていただきます。

「何を幸せとするか」については、いろいろな考え方があります。お金、健康、人間関係など、基準の取り方で幸せの中心は大きく変わります。今回は働き方との関係で考えてみたいと思います。

私は元々、建築や都市計画が専門でしたが、今は高齢化や人口減少に対応したまちづくりなどを研究しています。

まちづくりの基本は、暮らす人々が「幸せ」を感じられる場にあることです。その意味で「幸せ」とは何かに関心を持ちました。

高度経済成長期は編み直しのセーターでも幸せだった

私は、1953年生まれです。1960年代、いわゆる高度経済成長時代に育ちました。皆さんは脱脂粉乳をご存知でしょうか。当時、学校給食の「ミルク」は本物の牛乳ではなく、脂肪を取った後の副産物で、アメリカでは家畜の餌だったそうです。

子どもの服はお下がりが普通で、私は兄が着たセーターを編み直したものを着ていました。今なら、買った方が安い(笑)。モノとお金がないので、手間をかけたのです。家の窓枠はアルミサッシではなく、木枠なので隙間風が吹き込んできました。

高度経済成長期は一億総中流社会(注2)と言われ、多くの人がほぼ同

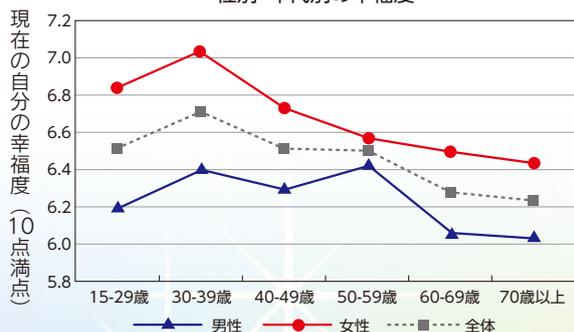
じような生活水準で暮らしていました。やがてテレビ、冷蔵庫、車も買えるようになり、「明日は今日より良くなる」と、みんなが信じていました。

幸福は絶対評価でなく、相対評価

当時は家族そろって一泊旅行に行くのは珍しいことでした。現在はどうでしょうか。モノはあふれるほどあります。行こうと思えば海外旅行も簡単です。でも、格差が広がっていると国民の多くが感じています。結婚しないのではなく、できない人が増えています。

幸福の基準は、絶対評価ではなく、周囲や時代の中での自分の位置によって決まる相対評価のようです。図をご覧ください。

幸福度(男性<女性)
性別・年代別の幸福度



(資料)内閣府「平成21年度国民生活満足度調査」より作成

主観的な幸福度の調査をまとめたグラフですが、女性が男性よりも高い。これは世界的な傾向です。また、日本では加齢と共に幸福度が下がっています。アメリカでは、若い

時代と高齢期の幸福度が高いV字型です。

ワーク・ライフ・バランスが幸福を左右する

日本の幸福度をみると、教育に関する点数が高い。日本が大きく下げているのは、ワーク・ライフ・バランス、長い労働時間と短い余暇時間です。OECD（経済協力開発機構）諸国は、こうした調査を元に、各国の特徴を出そうとしています。

経済と幸福度の関係は、高度経済成長期は並行して上がっていききました。80年代以降は、経済が伸びても幸福度は上がっていません。これを「幸福のパラドクス（逆説）」といいます。

1998年に年間約3万人の自殺者がありました。約7割が男性です。交通事故死の数の数倍の数です。国内最大の東京マラソンの参加人数が



3万2千人、それに匹敵します。男性は相談する人が少ない。「男はこうあるべき」といった型に、自分をはめて生きている人が多いのも原因のひとつです。

ワーク・ライフ・バランスの実現によって、この辺はずいぶん改善できるのではないのでしょうか。

子育てと介護が男性の世界観を広げる

ワーク・ライフ・バランスの目的のひとつが、仕事と介護の両立です。2025年には団塊世代が後期高齢者の仲間入りをし、日本は大介護時代を迎えます。

日本には介護保険制度がありますが、まだまだ家族介護が大きなウェイトを占めています。年間10万人が介護を理由に離職し、離職者のうち8割が女性です。かつては「子育ては妻」で済みましたが、これからは子育ても介護も、男女の協力が重要です。そのためには男女共にワーク・ライフ・バランスが必要になるのです。

私事ですが、30年ほど前に離婚し、それ以降、当時2歳と3歳の男の子を育ててきました。子育ては、できないことを無理に教えこむのではなく、子どもの持っている能力を引き出して、それを顕在化していく、その手伝いをするのだと思います。子育てでは子どもなりの世界の見方が

あるなど、発見が多いですね。よく言われる「育児は育自」です。

母は高齢になって歩けなくなり、色々なことができなくなりました。洗濯物も干せない。しかし、取り込んだ洗濯物を母のところに持って行き「これをたたんでね」と頼むと、母はそれを丁寧に行ってくれました。

人の可能性を見つけ、無理強いせず、それをじっくり引き出す。子育てでも介護も共通する面があります。男が見過ごしていたことが、そこにはたくさんあります。

「人は幸せだから笑うのではない、笑うから幸せなのだ」

我が家は父子家庭で、私は子育て、家事と仕事を両立させてきました。自分で子どもを育ててみると、とにかく手間がかかる（笑）。食事やお風呂などいくら時間があっても足りません。最初はイライラしましたが、だんだんとゆつくり育てることを学びました。

自転車の乗り方を練習したとき、最初はできなかつたことが、やがてできるようになる。時間と手間はかかるが、子どもはどんどん成長していく。これが子育ての喜びだと思いました。

私は泳げなかつたので、子どもと一緒に水泳を習いに行きました。その結果、子どもも私も泳げるように

なりました。このとき、子どもを育てることは、親自身も成長することだと実感しました。

子育てや家事をしていると、仕事のやり方も変わります。

残業を減らし、効率を考える。わざわざワーク・ライフ・バランスと意識しなくても、家事と育児をやる、自然とそうなるっていくのです。

アラン（注3）に「幸福論」という本があります。そこには「幸福は意思の問題だ。人は幸せだから笑うのではない、笑うから幸せなのだ」とあります。生活や仕事は、自分で変えていける部分があります。価値観を決めるのは自分自身です。大勢が少しずつライフスタイルを変えていくと、それがやがて社会全体も変えていきます。

まず、笑うことで幸せを目指そうと思えます。

（記事…高坂）

(注1) ワーク・ライフ・バランス
やりがいのある仕事と充実した私生活を両立させるという考え方。仕事と生活の調和
(注2) 一億総中流社会
日本の人口が1億人を突破した高度経済成長期末期の1970年代に国民の大多数が共有した自分が中流階級に属するという意識
(注3) アラン
フランスの哲学者、評論家。「幸福論」(1925年著)の著者
本名: エミール=オーギュスト・シャルティエ

結婚を望むあなたをそつと後押し

〜ブライダル・スタッフの視点から〜

現代の結婚事情

一昔前までは結婚するのが当たり前と思われていました。しかし、現在はその当たり前が変化しています。結婚を「する」「しない」は個人の選択で、その理由もさまざまです。「晩婚化」「未婚化」と騒がれていますが、その原因は「経済的不安」「女性の自立」「出会いの減少」などともいわれています。

ただ、将来的な事を考えると「家族を持ちたい」「結婚はしたい」が、その前に不安や迷いが多く、結婚までの決心ができない。そんな若者がとても増えているのです。

結婚式場でのひとこま

授かり婚(注)で結婚をしたご夫婦。入籍はしたが結婚式は挙げておらず二人目の子どもを授かった時に結婚式を決意。いつも無口な新郎が結婚式当日の謝辞、事前に用意した挨拶文を広げ読み始めましたが、突然、挨拶文をポケットにしまい、まっすぐ前を見て話し始めました。「一人目の子どもを授かり結婚しました。

正直戸惑いもありました。不安もありました。でも、今は二人目の子どもがお腹にいます。もうそんなことを言っていられません。僕は家族を幸せにします」

新郎の不器用だけど正直な気持ちに、列席者から大きな拍手が寄せられました。「みんな応援しているよ！頑張れ！」そんな想いの詰まった拍手でした。

結婚すれば、自然に家族になるのではない。家族とはつくっていくもの。そのための決意を感じました。

夢より現実？

経済的に不安だから、結婚に踏み切れない。でも、いつになつたら経済的不安はなくなるのでしょうか。多分、経済的不安は一生拭いきれないでしょう。以前は、結婚したら、何ともあれ頑張らなければならぬという考え方だったので、経済的不安はあつたにしても、結婚しない理由にはならなかつたのではないのでしょうか。モノがあふれる時代に生まれ育つた今の世代が求めるものは、現実的なことと言われています。結

婚に夢を見るよりも先に、現実を考えてしまうのでしょうか。

前橋市の取り組み 「前橋結婚手帖」

前橋市では、「結婚したい」けれど不安な想いを抱えた方を応援するため、「前橋結婚手帖」を発行しました。手帖では、人生プラン、出会い、男女の仲、お金、決断の5つのテーマから、結婚に向けた歩みを進めるための22の具体的なアクションを提案しています。

前橋を舞台とし、擬人化した動物キャラクターを主人公に馴染みややすいストーリーを導入、ポジティブな言葉で、前向きな気持ちで結婚に向かえるような一冊となっています。結婚手帖は、きつと、結婚を望む方の道しるべになるはずですよ。前橋市役所政策推進課をはじめ、各市有施設の窓口で配付しているほか、市立図書館でも貸出を行っていますので、ぜひ、お手にとつてお読みいただければと思います。

結婚への一歩

結婚は、「大変だ」と言われることが多く、事実、大変だと思えます。でも、それ以上に楽しいことや嬉しいことが増えます。実際、結婚したら「結婚してよかった」と感じる既婚者が多いのです。「経済的不安」と関係して共働き夫婦の増加。それに伴い「家庭と仕事の両立に対する不安」など色々ありますが、解決方法はたくさんあります。まずは不安を感じたら誰かに相談してみましよう。人生の先輩や同じ環境の人たち、周りの人たちはきつと応援してくれれば幸いです。

(記事…金田)



「前橋結婚手帖」

注) 授かり婚
妊娠したことをきっかけに結婚すること

きらり輝くヒトにインタビュー！

新樹34号のFMぐんま
アナウンスセミナー講師の
清水由美さんからの紹介です。

そうきよくか
箏曲家

はじめ
鈴木 創さん

15年間勤務した会社を退社し、
箏曲家としての道を選んだ鈴木さ
んにお話を伺いました。



◆現在の活動について

基本的な活動は「演奏活動」と
「教える活動」の2本です。幸い演
奏活動は月に1、2回はさせても
らっています。

◆箏の魅力はどんなところ？

ひとつは、自然の音ということ
です。というのも、楽器が全て自
然素材できています。糸は、今
は化学繊維になってしまったので

すが、昔は絹を使っています。
だから、人間の体にとって無理の
ない音なのです。そして日本人が
長い間培ってきたものなので、日
本人のDNAに合っているのでは
ないでしょうか。

もうひとつは、エンターテイン
メントのような派手な要素は低い
のですが、静かな感動を呼ぶ癒し
の音だと私は思っています。

◆会社員から箏曲家になるという大 きな決断をされたわけですが、その 決め手になったことは？

妻です。ちよつと結婚する時、妻
に相談したら「好きなことをやりな
よ」と言ってくれました。だから私
は「寿退社」なんですよ(笑)。
普通は、そういう時、会社員を
している方が良いのではと思いま
すが、何もためらわずに言ってく
れました。妻の両親にも「生活で
きれば、良いんじゃないか」と言
われ、こっちが拍子抜けしたくら
いです。

◆箏の世界での男女の違いは？

女性の比率が圧倒的に高く、お
よそ8割が女性です。我々男性は
少数派ですが、その中でも役割は
あります。それは女性だから、男
性だからというわけではなく、そ
の人その人ができる役割を担って
いるということです。だから、男
女の区別があるわけではないと私

は思っています。

個人には得意分野、不得
意分野があるので、男女と
いうことよりも、個々の個
性が生かされる社会になっ
て欲しいですね。

◆家事分担は？

うちは、食事は各自調達
なんです。生活の時間帯
が違うので自然にそうなり
ました。

以前は、夕食時間を9時
に決めて妻が作ってくれて
いました。でも、妻は働い
ているため、買い物をして
9時までに夕食の用意をす
ることも、僕自身も9時に
帰ることも大変なこととし
た。それで、お互いにスト
レスになったので、それぞれ仕
事の都合などに合わせて食べたいも
のを食べることに決めました。時
間もお金も無駄をなくすことな
り、寝る前におしゃべりをしたり、
テレビを観たりする夫婦の時間が
持てるようになりました。

◆読者へ伝えたいことは？

箏は敷居が高いとか、よくわか
らないと言われるのですが、決し
てそういうことはありません。私
は演奏活動を通じて生の音を届け
たいと思っています。また、ただ
単に聴くだけでなく、どういった



曲かわかったうえで聴きいた
きたいので、曲の説明をしまし
ます。

ぜひ一度演奏会に足を運んで
いただけたいと思います。

この日、取材の後で急なお願
いにも関わらず二曲演奏してくだ
さいました。静かで、それでいて
心を揺さぶられるような素晴らしい
演奏でした。これからの活躍を
期待しています。

(記事：林)

ありのままの自分で「LGBTについて考える」

LGBTという言葉聞いたことがあるでしょうか？次のセクシュアリティ（注1）の頭文字をつなげた言葉で、性的マイノリティ（性的少数者）を表す総称のひとつです。

- L = レズビアン（女性同性愛者）
- G = ゲイ（男性同性愛者）
- B = バイセクシュアル（男女どちらも恋愛対象となる人、両性愛者）
- T = トランスジェンダー（身体の性と自分の思う性が一致せず違和感を持つ人※）

※「性同一性障害」は身体の性に違和感を持つ人が、ホルモン治療や性別適合手術といった医療行為を受けるための診断名です。

上の4つ以外にも

Xジェンダー（男女どちらでもある、あるいはどちらでもない、中間であると自認する人）

Aセクシュアル（恋愛・性愛関係を望まない人）など様々なセクシュアリティがあります。

民間の調査ではLGBTは人口の7.6%、13人に1人の割合で存在していることがわかっています。（注2）学校のクラスでいえば2、3人はいるのです。とはいえ、「自分の周りにはLGBTの人はいない」という声も聞きます。それは「いない」のではなく、周囲に打ち明けられず、ありのままの自分を出すことができないのです。

LGBT等の性的マイノリティ当事者が『ありのままの自分』でいられない場合は、日常生活のいたるところに存在しています。その中でも冠婚葬祭は、親族、地元の友人などが多く、周囲に打ち明けられずにいる当事者は、多くのストレスにさらされます。それは結婚・恋愛などの話題の中で、自身の性的指向（好きになる性）を偽らなければならなかったり、表現したい性の服装ができないためです。そうした理由から、冠婚葬祭等の行事を避け、家族や、地元から離れてしまうこともあります。



自分らしい服装で祝う成人式 たくさんの笑顔が集まりました！

そのような現状から、年齢・性別・セクシュアリティ不問、自由な服装で参加できる『ぐんまにじろ成人式（LGBT成人式）』が、当事者団体「ハレルワ」の主催で、8月11日（土）に高崎市で開催されました。当日は、当事者や理解者約70人が参加し、新成人の辞やLGBT映画の上映、トークイベントが行われました。

参加者自身が、ありのままの自分を肯定的にとらえ『なりたい人になる』一歩を踏み出すきっかけとなり、自他ともに祝福される一日となりました。

LGBTを含む全ての人々が自分らしく生きられる社会になるために、互いの違いや多様性について一人ひとりが考えていきたいものです。

（記事：間々田）

セクシュアルマイノリティ支援団体「ハレルワ」

HP : <https://hareruwa.tumblr.com/>

2015年6月に発足した、群馬県初のセクシュアルマイノリティ支援団体。

団体名の由来は「感謝」や「歓喜」を表す「ハレルヤ」と「繋がる」という意味の「輪」を合わせたもの。交流会、講演などを行っている。



注1 セクシュアリティ

性のあり方。〈からだの性〉〈こころの性〉〈好きになる性〉の3つの要素があると考えられている

注2 電通ダイバーシティ・ラボ「LGBT調査2015」

前橋市男女共同参画基本計画（第四次）

「まえばしWindプラン2014」後期計画を策定！

前橋市では、社会情勢の変化や課題に対応していくために「まえばしWindプラン2014」の中間見直しを行い、平成30年度から4年間の後期計画を策定しました。

今回の見直しでは、「LGBT（性的少数者）への理解の促進」や「男性職員の育児参加のための休暇の取得促進」を新たに具体的な施策に加えました。

「市民一人ひとりがお互いを大切にし、性別にかかわらず、個性を輝かせて生き生きと暮らすことができる男女共同参画社会」の実現を目指して、市民の皆様と一緒に取り組んでいきます。



詳しくは市HPで

編集後記



●結婚を望みながらも不安をお持ちの方のお力に少しでもなれたら嬉しいです。幸せな人が増え、明るく温かい社会ができるように願っています。

（金田貴子）

●妻の旅行中、2週間ほど毎朝中学生の子どものお弁当を作りました。「味が薄い」「色が地味」とか注文が多く、これっていつも自分が言っているのと同じと思いました。まさに「育児は育自」。

（高坂均）

●人との出会い、今回もたくさんありました。優しい瞳で軽く触れ、少ししか語らず多くを聴く。編集の仲間も取材のお相手もキラキラしていました。

（中山洋子）

●今年も様々な方に助けていただいて、無事に記事を仕上げることができました。協力してくださった方々、本当にありがとうございます。（林円）

●ハレルワ代表として記事を書かせていただきました。男・女らしさを人に強要せず、互いに尊重しあえばLGBTの人に限らず、全ての人が生きやすい社会になると思っています。

（間々田久渚）

発行日：平成30年10月15日 編集：「新樹」編集委員

発行：前橋市男女共同参画センター 〒371-0023 前橋市本町一丁目5-2 職員研修会館1F

直通電話：027-898-6517 FAX：027-221-6200 メールアドレス：sankaku@city.maebashi.gunma.jp

《新樹35号のご意見・ご感想をお待ちしています！》

新樹第35号・2018年10月15日 8